

**アセアン諸国等における政策提言に向けた
農産物高付加価値化推進のための調査研究事業 [継続]**
【19(21)百万円】

対策のポイント

アセアン諸国の農産物・食品の高付加価値化のためフードバリューチェーン(FVC)構築の取組を後押しし、その成果をAMAF+3農林大臣会合等の場に共有し、農村貧困削減に貢献します。

<背景/課題>

- ・我が国食品産業が多く進出しているアセアン諸国との関係においては、2014年に開催されたAMAF+3農林大臣会合においてFVC構築のための官民連携による協力についての取組を拡大することが共同宣言に盛り込まれ、ASEAN+3首脳会議等においても、我が国総理からFVC構築のための官民連携による協力の強化について言及されました。
- ・東南アジアのシンクタンクであるERIA(東アジア・ASEAN経済研究センター)への専門家派遣により、対話等を通じた各国における具体的な取組に加えて、民間企業と協力しながら国際的な調査分析事業を行い、FVCの現状、構築による農産物高付加価値化に向けた課題及びその経済効果を分析し、関係国、関係者間で共有することが重要です。

政策目標

FVC構築による農産物・食品の高付加価値化がアセアン諸国等の生産・加工・流通・消費の各段階にもたらす経済効果を明らかにし、アセアン諸国の経済発展を後押しするとともに、農村貧困削減に貢献する政策提言を行います。

<主な内容>

農産物高付加価値化推進のための調査研究事業 19(21)百万円

(1) 農産物高付加価値化のための調査・分析

農林水産省から東南アジアで評価がトップとされるシンクタンクであるERIAに専門家を派遣し、ERIAの持つリソース(インフラ開発、産業振興、PPP投資環境等の知見)も活用し、農産物の高付加価値化によるアセアン諸国への経済効果(インフラ、投資、関係政策等)について調査・分析を行います。

(2) 各国政府・関係国際機関との協調

各国政府やOECD、FAO等関係国際機関と協調し、現状や課題を把握します。

(3) 政策提言を通じた成果の共有

成果については、AMAF+3会合等への政策提言を通じ、ASEAN事務局や各国政府に共有します。

〔 拠出先：東アジア・アセアン経済研究センター (ERIA)
事業実施期間：平成28年度～平成30年度 〕

〔 お問い合わせ先：
大臣官房海外投資・協力グループ (03-3502-5913)
国際機構グループ (03-6738-6155) 〕

アセアン諸国等における政策提言に向けた 農産物高付加価値化推進のための調査研究事業

事業概要・目的

(事業内容)

①ERIAの持つリソース(インフラ開発、産業振興、PPP投資環境等の知見)を活用し、フードバリューチェーン(FVC)構築支援のための調査・分析(インフラ、投資、関係政策等)

②AMAF+3会合等へ成果を共有

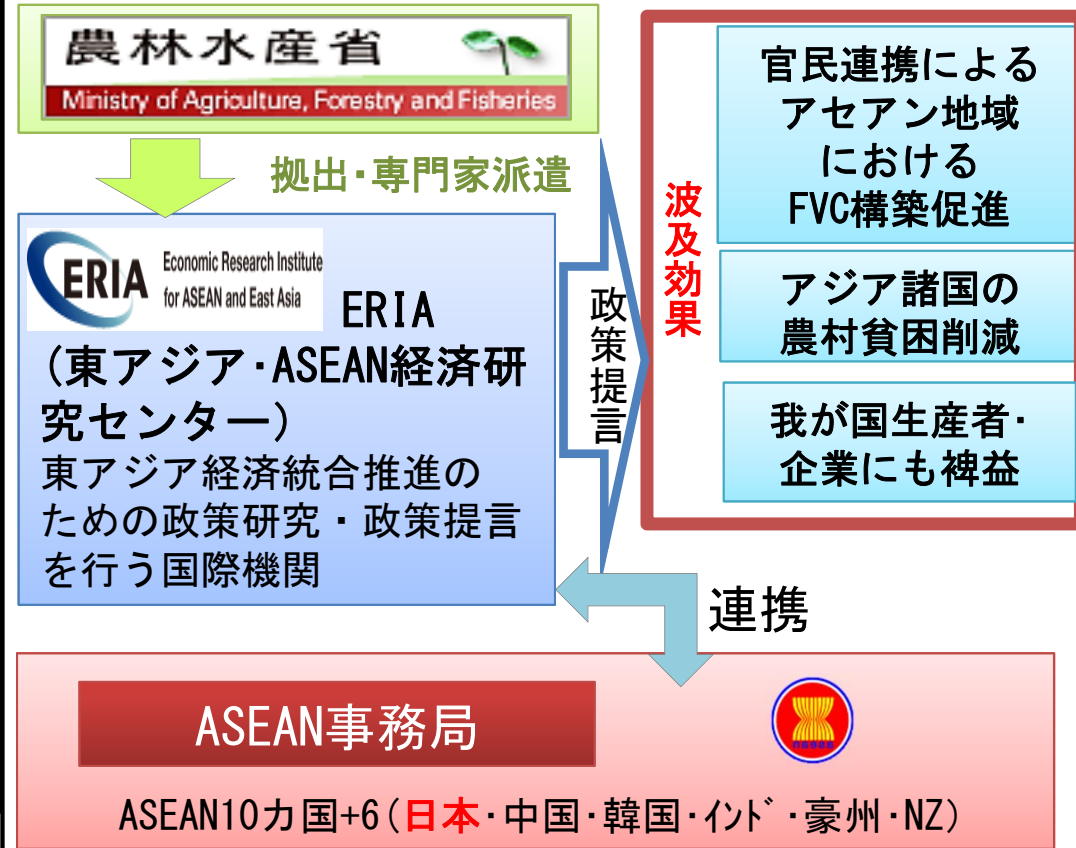
(政策目標)

①FVC構築による農産物・食品の高付加価値化がアセアン諸国等の生産・加工・流通・消費の各段階にもたらす経済効果を分析

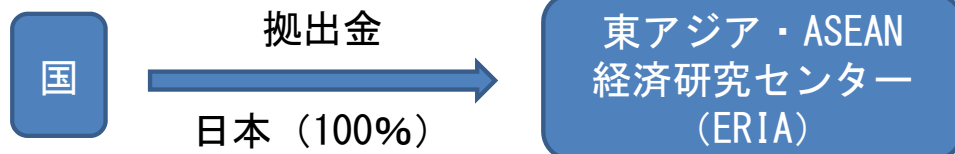
②政策提言等を通じて、アセアン諸国の経済発展を後押し

③アセアン諸国の農村貧困削減に貢献

事業イメージ・具体例



資金の流れ



期待される効果

- アジア諸国の貧困の削減に寄与するとともに、我が国が目標としているFVCの構築の促進
- 我が国の生産者・企業にも裨益